

2023 年度博士課程前期課程外国語（日本語）春季入試模範解答

近年、AI（人工知能）の発展は著しく、データ分析や文章生成など、従来は人間の研究者が担ってきた領域にも大きな影響を与えている。そのため、将来的に人間の研究者が不要になるのではないかという意見が生まれるのも理解できる。しかし、私は AI が研究者に完全に取って代わることはないと思う。

第一に、AI は膨大なデータを高速に処理し、パターンを見つける能力に優れているが、研究の出発点となる問いの設定や、新しい視点の創出は依然として人間の役割である。研究とは単に既存の知識を整理するだけでなく、新たな問題を発見し、仮説を立て、その意義を社会や学問の文脈の中で位置づける営みである。このような創造的思考は、人間の経験や価値観に深く依存しており、現時点の AI には完全には再現できない。

第二に、研究成果の評価や応用においても、人間の判断が不可欠である。AI が提示した結果が倫理的に適切か、社会にどのような影響を与えるかを考えるには、人間の責任ある判断が求められる。特に医療や教育などの分野では、単なる効率性だけでなく、人間的配慮が重要である。

もっとも、AI は研究を支援する強力なツールとして今後ますます重要になるだろう。データ処理やシミュレーションなどの分野では、人間と AI が協働することで、研究の質と速度が大きく向上すると考えられる。

以上のように、AI は研究者の役割を変化させる可能性はあるが、人間の研究者そのものを不要にするわけではない。むしろ、AI を適切に活用しながら、人間ならではの創造性や判断力を発揮することが、今後の研究において重要になると考える。